

こんにちは  
ブレインテックです



公益社団法人東京都看護協会は、東京都に在住・在勤の看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）の資格を持つ個人が自主的に加入し運営する看護職団体です。2019年4月に飯田橋から移転した新会館は、都営大江戸線西新宿五丁目駅から徒歩4分、都庁から徒歩10分の場所にあります。今回は新会館内の図書室を訪ねて、教育部 図書係司書の勢田様にお話を伺いました。



——図書室含めてフロア全体がお洒落なカフェのような空間ですね。

まさにそういう狙いで、図書室の書架も床と同じ茶色、壁は白、曲線を描いた棚など、全体のデザインを統一しています。ゆったりとくつろいでいただ



## 第91回

### 公益社団法人東京都看護協会 図書室

2020年10月

けるようにというコンセプトです。図書室内で飲食はできませんが、隣接のラウンジには飲料の自動販売機があり、看護研修生の方が休憩したり、資料を閲覧したりしています。

図書室の窓際の椅子は一人で集中して考え事ができるようなデザインとなっており、目の前のテラスからは都庁も見えます。



——まさに東京を感じるロケーションですね。早速ですが、東京都看護協会について、教えてください。

東京都看護協会は個人の力だけでは解決できない看護を取り巻く課題を、組織の力で解決し、看護を発展させ、社会に貢献します。

現在東京都看護協会には約5万人の看護職が加入しています。

——書架を拝見しましたが、やはり看護系の資料が多いですね。

蔵書は看護系、それから医学系、そして一般書籍で、1万5千冊ちょっとになります。この新館に引っ越しした際、蔵書やインターネットなどさまざまな情報源を活用しながら、能動的に学習できるように設置されたスペースにレ



イアウトをリニューアルしました。

——雑誌架もなかなかのボリュームですね。

雑誌は190タイトルあります。特定のトピックが見たいという要望も多く、この4月からはメディカルオンラインの契約を始めました。その他オンラインではメディカルファインダーなどを検討しています。



——主に利用されるのは看護職の皆さんでしょうか。

利用者の多くは東京都に在住在勤の看護職、看護学生などです。協会の会員数は5万人弱ですが、図書室の利用者は年間600人くらいです。貸出の対象は会員ですが、東京都以外に在住在勤の方も図書室の利用はできます。現在は、新型コロナウイルス感染症対策として連絡先を記入してもらうよう

にしています。

研修実施時は、研修会場にも図書室の資料を置いています。会員特典としてオンラインデータベースの利用ができるので、協会の会員になるきっかけが図書室だといいなと思っています。

### ——2011年9月に情報館を導入されました。

検討の際、日本看護協会が情報館を導入していたのを参考にしました。

導入後はとても便利に使っています。情報館はサポートが手厚く、聞きたいことがあるとすぐに聞けるので助かります。

### ——お問い合わせを活用していただけてよかったです。機能や使い勝手はどうでしょうか。

利用者が使うOPACが見やすく、使いやすくなりました。

図書室のサイトを情報館のOPACサービスで作成していますが、昨年10月、新バージョンに移行した際に、利用可能なデータベースへのリンクをトップページに掲載しました。目的のページまでのステップを最小限にしたことで、容易かつ迅速に操作できるようになり、

ユーザーからも好評を得ています。

### ——4月から5月の緊急事態宣言の間はどうされていたのでしょうか。

2ヶ月間閉室しました。その間は、利用者向けのルール作成、それに伴う利用案内の更新、図書室のマニュアル作成、そして図書室サイトの英語ページの原稿を作ったりしていました。今のOPACになって管理者画面からトップページが編集できるようになったので、在宅でも作業ができました。

また、情報収集として、日本医学図書館協会や日本看護図書館協会のメーリングリストに記載されたオープン情報、書店の特設ページ、またナーシングチャンネルというビデオ有料ページがその期間は無料になっていたもので、例えば注射の方法の動画など、そういったものをサイトに掲載しました。

さらに、週1回、看護職向けのメールマガジンを配信しました。

日々医療に従事する看護職を、資料を通して、教育・研究の面から支えるのが図書室の役割だと考えて仕事をしています。



図書室中央の展示スペースに、特集コーナーを設けています。現在は新型コロナウイルスに特化した「感染対策」をテーマに展示を行っています。貸出の多い資料を知り、利用実態を把握するために、貸出統計など情報館にお世話になりました。

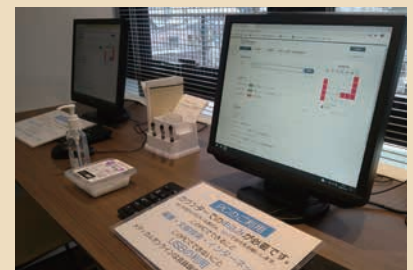
### ——閉室されている間も色々発信されていたのですね。今後の予定や将来的な計画等はいかがでしょうか。



今後は電子化とデータベースの利用拡大を進めようとしていて、まずはデータベースの契約を増やし、それに伴う利用者教育として、文献検索のミニ講座の実施を予定しています。

また、これまでは来館者へのサービスがメインでしたが、レファレンスなど、オンラインのサービスを拡大していきたいと考えています。

将来的には電子化が進んで、リンクリゾルバなど含めOPACで完結できるようになるといいなと思います。現在は図書館システムと電子図書館機能は別々のものですが、そのうち規格が統一されるといいですね。



### ——看護職の支援という使命を果たそうと活動されている図書室のお力になれるように、ブレインテックもご要望の実現など努めていきたいと思えます。ありがとうございました。

公益社団法人 東京都看護協会  
図書室

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 4-2-19

TEL:03-6300-5798 (直通)

<https://tna-library.opac.jp/opac/top>